

支所だより

東予・丹原・小松の各総合支所管内での、身近な出来事や話題などを紹介するコーナーです。

東予総合支所

〒799-1394 周布349番地1 TEL0898-64-2700 FAX0898-65-4363

地域のために「今、私たちにできること」

～東予高校生徒による海拔測量～

「この地盤は海拔〇〇mです」こんな表示を金融機関や駅で見たことはありませんか。

これは東予高校建設工学科2年生の4人が、日頃学んでいる水準測量という方法で測量した結果を基に設置した海拔表示板で、海拔が低いことを地域の人々に知ってもらい、災害に備えてもらいたいという生徒たちの熱い思いが込められています。

生徒たちは、南海トラフ巨大地震での西条市で想定されている被害の大きさを知り、自分たちで測量を行い海拔表示板を製作しました。測量を通し、西条市の海拔がとても低いことを実感し、防災意識も高まった

そうです。測量の様子は新聞をはじめ、世界140カ国で放送されるNHKのテレビ番組「Asia This Week」でも紹介されました。

また、1月に行われた愛媛県高等学校工業科生徒研究発表会でも、これらの取り組みを発表し優秀な成績を収めた生徒たちは、「今後も学校で勉強や実習に励み、知識や技術を防災対策に役立てたい」と話してくれました。



測量を行った東予高校の生徒たち（左から）三好さん、丹下君、佐々木君、川又君

丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地1 TEL0898-68-7300 FAX0898-68-4769

成人の日に思い出の玉手箱

～タイムカプセル開封式～

平成16年10月、丹原町閉町記念に、当時の小学4年生130人が、「小学生の時の自分に10年後に会うことができる思い出の玉手箱」として、『二十歳の私』と題した作文等をタイムカプセルに封入し、丹原文化会館に展示保存しました。



タイムカプセル開封式

10年目となる今年度、その子どもたちが新成人となり、1月11日に開催された成人式終了後、タイムカプセル開封式を丹原文化会館で開催しました。新成人の皆さん108人が出席し、当時の校長先生、

担任の先生、保護者の皆さんが見守る中、タイムカプセルが開封され、自分の作文、クラス写真、校長先生の作文等を見ていきました。幼かった当時の写真や、10歳の自分が思い描いた20歳の自分の作文を読んで当時を懐かしむ姿、級友や恩師との再会に笑顔で喜ぶ姿が会場のあちらこちらで見られ、盛大な開封式となりました。

平成46年には、当時の中学1年生の作文が収められたタイムカプセルを開封します。さらに深まった思い出が開かれる20年後が今から楽しみです。



10年前を懐かしむ新成人たち

小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地 TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

心は一つ、全員完走

～マラソンの輪を！ チーム「ぷらいど」～

「愛媛マラソン出場」を合言葉にマラソンの輪を広げているチーム「ぷらいど」。「マラソン初心者でも愛媛マラソンに挑戦してみたい」という今井博志さんと丹下計利さんの思いが結成のきっかけで、2人でスタート。その後、5人となり朝霧湖マラソン大会（西予市で開催）へチームとして、初めて出場しました。

現在は、フェイスブックなどの情報をもとに集まった年齢や職業が異なる50人のチームとなりました（1月11日の西条市うちぬきマラソン大会にも参加）。

日頃は個人練習を中心としていますが、年に1回程度、合同で市内外4キロメートルのコースで練習して

います。メンバーは、愛媛マラソンへの出場を目標に走る楽しさを個々に感じながら汗を流し、練習後の親睦会でさらに絆を深めています。

今井さんによれば「愛媛マラソンへは、ランナー、応援ともに心をついに“ぷらいど（チーム名は小松小学校の運動会の種目名から）”を持って42.195キロメートルを走っています」とのことです。

皆さんの応援が励みになります。右胸にprideの文字が入った水色のTシャツを着たランナーを見かけたら、温かい声援をお願いします。



チーム「ぷらいど」